

日本標準商品分類番号
873122

承認番号	13900AZZ03958
販売開始	1962年7月

貯法：室温保存  
有効期間：3年


# ビタミンB<sub>1</sub>誘導体制剤 ビスベンチアミン製剤 ベストン糖衣錠(25mg) BESTON Tablets

## 3. 組成・性状

### 3.1 組成

成分・含量	1錠中 ビスベンチアミン28.58mg (チアミン塩化物塩酸塩として25mg)
添加剤	アラビアゴム、カルナウバロウ、サラシミツロウ、酸化チタン、ジメチルポリシロキサン、ステアリン酸マグネシウム、ゼラチン、タルク、炭酸カルシウム、デキストリン、トウモロコシデンプン、二酸化ケイ素、乳糖水和物、白糖

### 3.2 製剤の性状

色・剤形	白色・糖衣錠
外形・大きさ等	
	直径(mm) 7.3      厚さ(mm) 3.8      重量(g) 0.16
識別コード	TA005

## 4. 効能又は効果

- ビタミンB<sub>1</sub>欠乏症の予防及び治療
  - ビタミンB<sub>1</sub>の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、激しい肉体的労働時等)
  - ウェルニッケ脳炎
  - 脚気衝心
  - 下記疾患のうちビタミンB<sub>1</sub>の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
    - ・神経痛
    - ・筋肉痛・関節痛
    - ・末梢神経炎・末梢神経麻痺
    - ・便秘等の胃腸運動機能障害
- ただし、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

## 6. 用法及び用量

通常成人には本剤1日量1~4錠を経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

### 9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 11.2 その他の副作用

	0.1~5%未満
消化器	軽度の食欲不振、胸やけ、悪心、軟便、下痢

## 14. 適用上の注意

### 14.1 薬剤交付時の注意

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある。

## 16. 薬物動態

### 16.1 血中濃度

ヒト30mg経口投与において、投与前7.2μg/dLの血中総B<sub>1</sub>量が、2時間後19.8μg/dLとピークに達し、6時間後においても12.4μg/dLを示す。<sup>1)</sup>

## 18. 薬効薬理

### 18.1 作用機序

本剤は、腸管吸収性及び組織移行性のよいB<sub>1</sub>誘導体である。ビタミンB<sub>1</sub>は、ATP存在下にthiamine diphosphateに変換し、生理作用を現す。糖質、たんぱく質、脂質代謝で、また、TCAサイクルの関門として重要な位置を占めるピルビン酸の脱炭酸反応やTCAサイクル内のα-ケトグルタル酸の脱炭酸反応に関与している。また、トランスケトラーゼの補酵素として五炭糖リン酸回路での糖質代謝や核酸代謝にも関与している<sup>2)</sup>。ビタミンB<sub>1</sub>作用<sup>3,4)</sup>のほかに鎮痛作用<sup>5)</sup>、腸管運動亢進作用、副腎皮質刺激作用<sup>6)</sup>を示す。

## 19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ビスベンチアミン(Bisbentiamine)

化学名：N,N'-[dithiobis[2-[2-(benzoyloxy)-ethyl]-1-methyl-2,1-ethenediyl]]bis[N-(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl)methyl]formamide

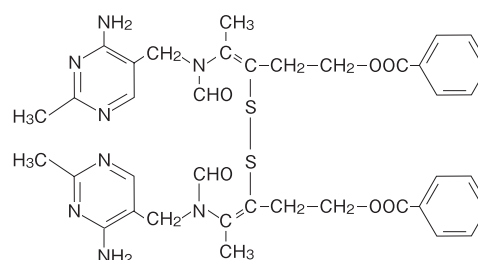
分子式：C<sub>38</sub>H<sub>42</sub>N<sub>8</sub>O<sub>6</sub>S<sub>2</sub>

分子量：770.93

性状：

- ・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦い。
- ・クロロホルムに溶けやすく、メタノールにやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、水にほとんど溶けない。
- ・希塩酸に溶ける。

構造式：



融点：140~144℃(分解)

## 22. 包装

1,000錠[10錠(PTP)×100]

## 23. 主要文献

- 1) 山田弘三：ビタミン 1962；25(1)：127-129
- 2) 第十七改正 日本薬局方解説書 廣川書店  
2016；C3053-C3059
- 3) 西沢義人 他：ビタミン 1962；25(1)：92-133
- 4) 内海 勇 他：ビタミン 1962；25(1)：69-74
- 5) 藤村 一：ベストン座談会集 1963；5-11
- 6) 石原一郎 他：ホルモンと臨床 1966；14：263-265

## \* 24. 文献請求先及び問い合わせ先

ニプロ株式会社 医薬品情報室  
〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町3番26号  
TEL 0120-226-898  
FAX 050-3535-8939

## \* 26. 製造販売業者等

### 26.1 製造販売元



**NIPRO**

ニプロESファーマ株式会社  
大阪府摂津市千里丘新町3番26号